

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小規模保育事業等巡回支援事業			シート番号	014-122
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営
				課	評価責任者(課長名)
					花田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	令和 1 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第3条第2項			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	待機児童解消に向けた受け入れ枠の拡充を目的として小規模保育事業所が毎年開設され、新規法人の参入がすすんでいる。また、国の幼児教育・保育の無償化は認可外保育施設も対象となっており、対象施設の「質の確保」が求められている。このような状況をふまえ、経験豊富な保育士等が定期的に小規模保育事業所及び認可外保育施設を訪問し、保育に関する様々なアドバイスなどを行う巡回支援を実施することとした。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市内に設置する小規模保育事業所及び認可外保育施設			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	経験豊富な保育士等が定期的に小規模保育事業所及び認可外保育施設を巡回し、保育に関する様々なアドバイス等を行うことで保育の質の向上を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	園長経験のあるOB保育士等の専門職を巡回指導員としてチームを結成し、これまでの経験とノウハウを最大限に活かして巡回支援を実施する。 ・巡回の頻度は施設ごと(週1回～3か月に1回程度)で、1日3施設程度を巡回 ・保育者や施設長からの運営や保育内容等に関する相談に応じる寄り添い型の支援			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				

Ⅲ. 投入量

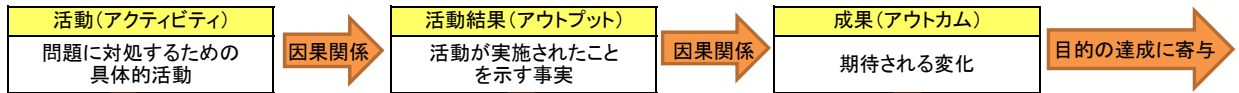
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	0	0	0	0	491	20	251	
	主な事業費内訳	旅費	千円					208	18	63
		消耗品	千円					100	0	72
		通信運搬費	千円					16	0	16
		その他使用料及び賃借料	千円					167	2	100
		国・府支出金	千円					245	10	125
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他( )	千円							
		一般財源	千円					246	10	126
	12	人件費 (b)	千円		0		0	8,800	8,640	10,260
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	9,291	8,660	10,511	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	小規模保育事業等巡回支援事業	シート番号	014-122
-------	----------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>経験豊富な保育士等が公立こども園で培った経験とノウハウを最大限に活かし、定期的に小規模保育事業等の施設を巡回することで、プール遊びや午睡、離乳食、衛生管理など保育経験を生かした様々な相談に丁寧にアドバイスを行い、保育の質の向上を図ることができた。また、対象施設からは、危機管理の対応方法や災害時の避難方法など、公立こども園や他園の先進的な取組みの紹介を受けることで、園の保育を検証するきっかけになったとの意見をもらっている。</p>					
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	巡回訪問支援実施施設数	箇所	目標値		82	135
				実績値		61	
				達成率		74%	
				評価		少し悪い	
		算出方法・設定根拠など 本市内に設置される小規模保育事業A型及び認可外保育施設(届出対象)の施設数					
			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16		目標値				
			実績値				
達成率							
評価							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	巡回訪問支援実施施設数	箇所			61
	②	上記①にかかる年間経費	千円			8,660
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			141,967
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2~3月頃に予定していた巡回が中止になり、年度末に予定していた認可外保育施設への巡回も中止となったため、目標の達成ができなかった。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

# 令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	小規模保育事業等巡回支援事業	シート番号	014-122
-------	----------------	-------	---------

## 《V. 点検》

### ＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 全国の保育施設等で令和元年度に起きた重大事故は1,744件発生している。定期的に小規模保育事業等実施施設を巡回し、事故が発生しやすい睡眠中やプール遊び・水遊び、食事対応などの安全対策についての助言を行い、課題がある施設には改善策を話し合うなど、安全・安心な運営や保育の質向上のためには廃止できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 定期的に小規模保育事業等実施施設を巡回し、事故が発生しやすい睡眠中やプール遊び・水遊び、食事対応などの安全対策についての助言を行い、問題がある施設には改善策を話し合うなど、安全・安心な運営や保育の質向上のためには休止できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 待機児童の解消を目的として小規模保育事業等の増設をすすめているため、経験年数の浅い保育者の増加等、保育の質の維持や向上を進めるためには巡回支援の業務を縮減することはできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 感染のリスクを避けるため、少人数で短時間の巡回支援を行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(集団指導の実施など)	<b>理由・説明</b> コロナ禍での巡回支援は感染リスクを伴うことから、少人数で短時間の巡回支援を行っているため、施設職員からの相談等に費やす時間が短くなっている状況がある。よって、必要に応じて集団指導の実施など、施設職員が時間をとって相談できる工夫を進める。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		本市では待機児童の解消を目的とした新しい施設の創設や保育士等不足などの影響もあり、経験年数の浅い保育者の増加による不均等が生じている。更に国の調査では教育・保育施設等で発生した死亡事故や治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重大事故は増加傾向となっており、令和元年には1,744件(内死亡事故は6件)の重大事故が発生している。これらのことから園長経験のあるOB保育士等の専門職が巡回指導員として日常的に相談・支援を行い、安心・安全な保育運営に関わることは重要である。		